

# 一 般 質 問

平成18年第2回定例市議会は、6月15日から26日まで行われ、一般質問は、6月16日から20日までの3日間、教育行政、福祉行政、観光行政など8人の議員が質問しました。

## 高橋 正美 議員

**問** 政府の行政減量・効率化有識者会議は、五月三〇日、北海道開発局の職員数を一、〇〇三人減員するものとした最終報告書を取りまとめたが、登別市・北海道への影響をどのように考えるか。

**答** 北海道開発局総体の職員数を削減する方針なので、道路整備事業や治水事業などを行なっている地域の開発建設部の職員数も減ることが想定される。

北海道への移譲事務に係る削減か、民間委託での削減か、その方針が明らかではないが、地域経済に大きな影響を与えることのないよう配慮を求めたいと思う。

## 山口 賢治 議員

登別市における死亡原因の第一位は癌です。その対応は、早期発見、早期治療が必要とされています。癌検診の一つとして、PET検査というのがあります。

この検査は、癌細胞が多量のブドウ糖を摂取する特性を利用し、疑似ブドウ糖に放射性物質を合成して薬剤をつくり、体内に投与します。一定時間が経つと、癌細胞に集まり、特殊カメラで撮影すると、癌細胞のある箇所がピンポイントで写し出され、癌がどこにある

か特定されるものです。市の施策として、補助対象とするよう、提案をしました。

## 花井 泰子 議員

**問** 全国の多くの自治体では交通弱者対策や住民の社会参加のため循環バスを導入しています。

二セコ町では別々に運行していた福祉バスやスクールバスを統合し町費を充て、低額で誰でも乗れる町民循環バスに切替えました。

登別市は、市民から喜ばれていた「高齢者バス割引事業」を廃止しましたが、市民の社会参加の促進や交通弱者対策、福祉、生活、健康を守るため、循環バスの導入をするべきと考えます。

**答** 弱者の足の確保については、ボランティアによる搬送、商店街の連携を視野にいれ、研究したい。

## 平田江美子 議員

**問** 市長は観光協会会長職についているが、予算執行側と補助金を受ける側が同じであり、会長職を辞めるべきだと思いますか。

**答** 協会の運営は会員の自主運営が基本、他の理事と協議してできるだけ早く、会員で自主運営することを求めたい。

**問** シルバー人材センターで働く

会員の労働災害の対応は。

**答** シルバー人材センターが紹介する仕事は会員個々が請け負う仕組みになっている。万が一の事故に備え団体障害保険・賠償責任保険に加入し、会員が安心して働ける環境づくりに努めている。

## 木村 純一 議員

**問** 子育て支援センター事業の充実に向けてのこれまでの取り組み状況と今後の考え方について。

**答** 平成十二年度に中央子育て支援センターを設置し、平成十七年度に登別保育所に子育て支援センターを併設、子育てに悩む母親などの不安を解消するため、支援に努めてきた。

今後は、公共施設の活用を含め、若草地区に設置を検討する。

**問** 介護報酬不正受給防止策は。 **答** 介護保険制度の改正内容を踏まえながら、事業者への運営指導等を適切に行い、不正防止に努めてまいりたい。

## 豊原 毅 議員

**問** ① 資源の循環利用について 間伐材や倒木を、暖房用の薪やペレット燃料として活用しては。

**答** 提言のように資源再利用の例もあるが、現地から搬出するコスト

が高く、経済的に採算が合わない事と、安定供給が図れないので活用は困難である。

**問** ② 信号機の設置について 道道弁慶幌別線、西小学校入り口付近に信号機設置の考えは。

**答** 地域住民はもとより、西小学校をはじめとする学校区でもあり児童生徒の安全確保と道路環境整備のためにも、室蘭警察署に早期の設置を要望している。



▲信号機の設置が望まれる

## 西村 孝夫 議員

**問** 改正道路交通法の対応として公共施設・集会所の付帯駐車場の整備のあり方をどのように考えるか。

**答** 必要性を感じない。 **問** 具体的に聞きたい ①市民会館 ②図書館 ③ 登別公民館 ④ 保育所

**答** ①市民会館 今以上の土地の確保は難しい。 ②図書館 近く予